

目覚める男^{ひと}

ディーリアスの曲に寄す

隣りにまどろむぼんやり白い身体はそのままに
そっと寢床を這い下り、カーテンを引けば
夜の闇は水で薄められていた

夜が明ける
夜が明ける、ただそれだけ・・・、しかも
しかもそれをいく山も超え
それ以上の何かが明けてゆく
ああ、夜が明けてゆく

頭は空虚^{うつろ}にぼっかりと誰も居ない

その空虚な中に射しこんでくる、音もなく
そして私は己の前に姿を現わしてゆく
ああ、明けてゆく、快き私
ああ、明けてゆく、何もかもが

(1982.4.17)